

古洞の湯、4月末に営業再開へ



再開が待たれる「古洞の森」(市HPより)

「古洞の湯」(池多地区)が廃止されて2年——ようやく、4月下旬に営業が再開されることになりました。富山市が3月、施設補修などに4200万円の追加支援を決定。再開へ、改修工事が急ピッチで進められています。

市が4200万円の追加支援

「古洞の湯」は昨春にも、民間事業者による営業再開の予定でしたが、能登半島地震の被害などで、見通せない状況になっていました。昨年から機器類の点検や施設改修が進められ、6000万円に加え、追加支援決定で一気に再開に向けて弾みがつきました。



高柳・農林水産部長に、要望書を手渡す林会長ら(1/20)

早期再開へ自治振興会が市長に要望

地元の池多地区自治振興会は1月20日、「古洞」の温泉施設の早期営業再開を求める市長あての要望書を提出。林正幸会長が高柳・農林水産部長に手渡し、市と事業者の尽力を要請しました。吉田おさむ市議をはじめ呉羽地区の2人の市議も同席。農林水産部

3月議会に向けて、支援の可否を検討している時期で、タイミングのいい要望だ。できる支援を検討したいと述べました。
自治振興会は、令和5年12月に続く2回目の要望書提出。市が事業者へのいくつかの支援決定の後押しになったことは確実です。

営業再開後も市は支援を



吉田おさむ
市会議員

3月議会で求める
市長は「古洞」は「地域にとっても、市民にとっても重要な施設だ。今後とも、事業者と情報を共有して、軌道に乗るよう見守っていききたい」と答弁しました。私は、今後とも市の関与と支援を求めています。

3月10日(吉田おさむ撮影)

